

# マスタングペースト取扱いマニュアル

動物の脂をそのまま革に塗っていたレトロアメリカン時代のシンプルなレザーメンテナンス。

このしなやかさを保つだけのシンプルな方法によって鍛えられた革は、時が経つほどラフ&タフないい味へと育っていった…

マスタングペーストはそんなレトロなメンテナンス・テイストを復刻させた保革油です。



従来のロウや石油系をベースとする、革表面の艶出しやコーティングタイプではありません。本品は厚みのあるハードなレザーであっても、革内部へしっかり油分補給できる最高級の保革油です。動物性オイルでもっとも浸透力のある100%天然の高級ホースオイルを、レザーメンテナンス用に特別な精製を行い製品化しました。

従来のミンクオイル以上の高い浸透力は、ハードなコードバン革でも油分を奥深くまで染み込ませ、さらにペースト状にしたことで布に取っても滑らかに伸び、塗りムラの心配もなくスムーズにメンテナンスできます。また、革製品と同じ動物性オイルですから、皮革の維持に最も適した栄養分を与え、乾燥や水分などのダメージから守ります。

## メンテナンス方法

ブラシ、布(無地のコットン製Tシャツ生地など)、肩幅が広いハンガー(ジャケットやシャツの場合)をご用意ください。

- ①オイルアップする前にアイテムの埃や汚れなどをブラッシングで落とします。落ちにくい汚れは柔らかな布や水で固く絞ったタオル、消しゴムなどで軽く擦るようにして落としてください(ひどい汚れの場合はレザークリーナーやレザーソープなどで落とす方法もあります)。

※時を経たデニムのタテ落ちが魅力のように、使い続けたラフな味わいのレザーに育てていきたい場合は、ブラッシング+オイルアップのシンプルメンテでOKです。

- ②埃や汚れを落とした後マスタングペーストを少量布につけ、薄く均等に塗布していきます。

※隔々まで塗布しやすい手指に直接つける方法もお勧めします(オーガニックオイルなので肌への影響はありません)。

- ③全体の塗布が終了したら、風通しの良い日陰でしばらく陰干ししてください(コードバンレザー(馬革)などの繊維が緻密な革は一昼夜程度)。

※ジャケットやレザーシャツなどは型崩れしないようにハンガーに吊るして陰干ししてください。

- ④仕上げに良質の布やブラシでポリッシュします。

※表面に余分なオイルが残っていた場合は拭き取ってからポリッシュしてください。

### ■ポイント

塗布するオイル量の目安は、アイテムの表面を光に当てて、薄っすらと油が乗っている感じでOKです(ジャケット1着で5ml程度。約20着分の容量があります)。

### ■ご注意

革以外の部分(例えば、ムートンやジャージ、ジッパーのテープ部分、その他の素材の違うところ)にはホースオイルが付かないようにしてください。後でシミなどになる可能性があります。間違っただけ塗ってしまった場合は、柔らかいきれいな布で滴むように素早く拭き取ってください。

### ■水に濡れた場合のレザーメンテナンス

本品で油分補給をしっかりと行ってやれば大丈夫です。

- ①水の吸収が良い乾いたタオルなどで叩くようにして、できるだけ水分を取り除きます。※ドライヤーなどで急速乾燥させると、革のひび割れや変形の原因になりますので絶対に行わないでください。
- ②型崩れしないように整えて、風通しの良い場所で陰干します。
- ③完全に乾いてしまう前に(生乾きの状態)本品を多めに塗布します。
- ④その後も陰干しを続け完全に乾かした後、ポリッシュして終了です。

### ■通常のメンテナンス回数

年間の着用回数が少ないウェアなどのメンテナンスは年2回程度で充分です(シーズンINとシーズンOFF時期)。シューズやポーチなど比較的使用が多いアイテムは年4回程度を目安にしてください。※上記はあくまで目安です。レザーの保存環境(室内湿度や気候、使用頻度の違いなど)により、メンテナンスの時期や回数は変化します。

### ■その他のご注意

- スウェードやヌバックなどの起毛革タイプ、メタリック皮革、爬虫類革には使用できません。
- 皮革の種類によってはシミや色落ちするケースがありますので、まず目立たない部分でテストしてください。
- 保管は必ずしっかり蓋を閉め、日光が当たる場所または高温多湿の場所を避けてください。
- 100%オーガニック成分で添加物などをまったく含んでいないため、使用期限は3年程度。開封後は1年位で使いきることをお勧めします。また夏は液化、冬は硬化する場合がありますが品質には問題ありません。
- 室温が50℃を越える場所には絶対に保管しないでください。容器からオイルが漏れる可能性があります。